

# コミュニティスクールとして 歩みはじめた郷ヶ丘小

—いわき教育事務所—



遠くの山々がよく見えます。  
白い校舎 広い校庭  
郷ヶ丘小学校

ここが、私たちの学校です。  
せまい校庭で  
ほこりっぽいプレハブ教室で  
きょうの日の来るのを  
じっと待っていました。

(中略)

生まれたばかりの この学校は  
きょうから私たちといっしょです。  
みんな、力を合わせて  
りっぱに育てます。

郷ヶ丘小学校

(開校式の児童代表の  
よろこびのことばの一節)

いわき市郷ヶ丘小学校は、同市七十  
番めの小学校として、去る四月六日開  
校式を挙げた。

郷ヶ丘小の校区は、日本一の面積を  
誇るいわき市の最も活況を呈す部分、  
そのほぼ中央に位置する。宅地造成に  
着手して約十年。緑したたる広大な丘  
陵は、色とりどりの屋根で彩られたモ  
ザイク模様と変わった。校区を形成す  
る二大団地につけられた名称「郷ヶ  
丘」「自由ヶ丘」はともに住民の申し  
い町づくりへの意欲にふさわしい。

郷ヶ丘小建設は、過密に悩む平五小  
の規模の適正化と遠距離通学の解消と  
いう、行政と住民の両サイドからの悲  
願を乗せて、総額約四億円(用地関係  
費を除く)を投じて行われた。現在十

四学級、児童数五百五十。プールと体  
育館も年度内竣工の予定である。

正門に立つ植栽の美しい長いアプロ  
ーチのかなたに白亜鉄筋三階の校舎が  
偉容を示す。中央部で鈍角(百十度)  
に屈折しているのが特徴的である。こ  
れは、二十四学級への拡張を考慮した  
用地の効率的活用と、冬の各教室への  
日照時間の均等化を図るものである。  
集会や遊びに活用される校舎前庭から  
舗装道路をはさんで主運動場が展開す  
る。二百メートルトラックに百十メー  
トル直線走路六コースが外接する広大  
さである。主運動場の西側に、団地と  
学校とを隔てることをねらいつつ、住  
民の憩いの場として設定された運動緑  
地公園がある。校地の東・北面は美し



だ ぁ スタート

い丘陵・山林が連なることから、学校  
は団地の中で隔絶された世界となる。

しかし、地形的には隔絶されても、  
機能的には、小学校と地域の密接な関  
連が求められる。郷ヶ丘小は、その発  
想や設計段階から、市教委・市長部局  
関係各課・住民代表らがプロジェクト  
を組み、数次の打ち合わせを重ね、そ  
の合意のもとに学校づくりが進められ  
た。前述の運動緑地公園の位置の決  
定、学校施設の一部地域開放など、事  
例にはこと欠かない。

新興住宅団地といえ、とかく弱民  
の連帯意識が希薄でまともにくいと  
いう印象が濃い、小学校を核として  
新しい町づくりをしようとする郷ヶ丘  
・自由ヶ丘の二地区―その意を体して  
文字通りコミュニティスクールとして  
の道を歩む郷ヶ丘小。郷ヶ丘小の経営  
は、郷ヶ丘に境を接して南に延びる巨  
大団地、いわきニュータウンと、そこ  
に建設されるであろういくつかの小・  
中学校に大きな示唆を与えることは疑  
いの余地がない。

郷ヶ丘に居を構えた郷ヶ丘一世たち  
は町をつくり学校をつくった。郷ヶ丘  
小に学ぶその二世たちは、二十年か三  
十年後に、団地はおろか世界の主役と  
して活躍するに違いない。そのために  
も、郷ヶ丘小の校長以下二十名の教職  
員は人間性豊かな児童の育成をめざし  
つつ、開拓の労苦を収穫のよるこびに  
変えるべく、一丸となつてがんばって  
いる。